

◆「」消息披露式典・公聴会開催

去る九月六日（水）午後一時より西本願寺高岡会館
札拝堂において、御消息披露式典、並びに「公聴会」
が約七十名の参加されるなか開催された。

まず第一部の「伝灯奉告法要御満座の消息」では、
本山から出向された池田行信総務から披露されたあと、
西岡教務所長に受け渡され、趣旨演達と特命布教が行
われた。

続く第二部公聴会では、「念仏者の生き方」、伝灯奉
告法要、「平和に関する論点整理」等について報告が行
われ、また新たに「(特)災害対策金庫の新たな原資」、
「実践運動総

合基本計画・

重点プロジェ

クトの改定」、

「一〇年、二

〇年後の日本

社会で求めら

れる僧侶像・

寺院像」につ

いて説明が行

われた。

参加者から

は『答申書』

に示される、



宗派による管理と統制の強化という方向性は、僧侶
一人ひとりの自由な発想、時宜に応じた柔軟な対応
力を奪うことになり、むしろ『社会から求められな
い』画一的な僧侶を生み出すことに繋がるのではな
いか『実践運動』の計画年度途中変更は、最初
から混乱が予想されていた。また、教区や組におけ
る『相談員』体制の廃止が運動の停滞を招いている。
見直すべきではないか』『平和に関する論点整理』
から二年経って、今回、四つの平和貢献策（案）が
出されたが、『合掌のすすめ / Gassho for Peace』な
ど、中身が抽象的すぎて意味がわからない」といっ
た疑問や意見が出された。

宗派では、公聴会で出された意見などを集約し、
今後の計画に繋げたいとしている。

☆九州北部豪雨災害義援金について

本年七月、教区災害対策委員会の議を経て、教区
内寺院にご依頼し八月三十一日まで募集をしてお
りました九州北部豪雨災害義援金については、現在
までに百十五件、百十三万四千円の義援金が寄せら
れました。

この義援金は、福岡教区、大分教区のそれぞれに
開設された義援金口座に送金いたします。

皆様からの心温まるご支援・ご協力、誠にありが
とうございました。

◆『全戦没者を悼み平和を願うつどい二〇一七』開催

八月九日(水)午後六時半から、『全戦没者を悼み平和を願うつどい二〇一七』が、西本願寺高岡会館礼拝堂で『憲法と本願』というテーマのもと、第一部「全戦没者追悼法要」、第二部「平和を願うつどい」が約一〇〇名の参加で開催された。第一部では西岡孝了教務所長の調声のもと、第一・第二ブロック(水波・関野・伏木・新湊・五位・射水組)の出勤をいただき、各教化団体代表者をはじめ、「つどい」に参加された方々全員が正信偈のお勤め中に焼香をされた。

第二部では、ドキュメンタリー

映画『不思議なクニの憲法』で監督をされた松井久子さんの講演が行われ、なぜこの映画を製作したのかを述べられた。また憲法九条を中心とした憲法問題に向き合っていく重要性を話され、「共謀罪」法の強行採決をした政府や、政治に向き合わない国民に疑問を呈した。参加された方からは「現状に憲法を合わせるのではなく、憲法から現状を問うべき、簡単に変えてはいけないと思う」「憲法改定と言ってもその方向は戦争をしようという方向に向いていると思わる。私たちは一人ひとりの大切な命を軽んじてはいけないと



思う。」等の声が聞かれた。このつどいは引き続き次年度も開催をしていく予定である。

また、八月五日(土)には、事前研修としてドキュメンタリー映画『不思議なクニの憲法』の上映会が行われ、七〇名の参加があった。

☆高岡教区野球チームが連覇(本山杯野球大会)！

八月十九日(土)、第五四回本山杯寺族青年野球大会(富山教区担当)が常願寺川公園グラウンドにて開催され、寺族青年の親睦とともに熱戦が繰り広げられた。今大会も、京都より本願寺チーム・富山教区本願寺クレシヤース、高岡教区野球部が、計三試合を戦った。メインの試合である富山教区本願寺クレシヤースとの本山杯では、昨年に続き先発した公文名 智キャプテン(射水組光照寺)の活躍と打線が繋がり、九対二で高岡教区野球チームが勝利し二年連続で本山杯を手にする事ができた。今年の高岡チームは、投打に活躍する選手が出るなど、長年勝てていない本願寺チームとの試合でも三対三の引き分けとなり、いよいよ次年度本山チームに勝利する足場が整った。

尚、本山杯 MVP には、富山・本山戦でヒットを量産し、守備では相手に傾きかけた流れをファインプレーで止めた寺嶋宏一遊撃手(射水組養楽寺※写真)が、敢闘賞には、本山戦で完投をした五十田秀慧投手(砺波組安詳寺)が選ばれた。

大会終了後、夕方より、本山、富山、高岡の各教区野球部関係者による表彰式と交歓会が開催され、大いに盛り上がり、お互いの健闘を称えあった。

今回はV3目指して高岡教区担当で来年8月最終土曜に行なわれる予定。



☆仏教婦人会連盟・寺院女性会連盟合同

実践運動研修会開催

去る八月二十四日(木)西本願寺高岡会館において仏教婦人会連盟・寺院女性会連盟合同実践運動研修会が開催され、『求められる寺院像とは』―僧侶・寺族・門徒としてどう生きるのか―をテーマに一〇〇名余りの参加者が学びを深めた。

初めに問題提起として講師の林史樹さん(教区委員会副委員長、伏木組要願寺住職)より講義があり、「社会状況の変化により、法座のお参りや法事が著しく減少し、最近では『墓じまい』という言葉も聞かれるようになってきました。先祖供養・祖先崇拜意識の希薄化によって、それに依存してきた寺院の経済基盤が崩壊していく中で、現状に危機感をお持ちの方は多いとは思いますが、その危

機感の内実はどうでしょうか?」と、護寺第一という問題意識は突き詰めてみると、住職家の生活問題、さらに言うとも門徒の確保⇨お金の確保という発想に陥るのではないかとし、その上で「寺院の果たす役割は何なのか、その存在意義が問われています。」と提起された。

話し合いでは「お寺は何も求められていない、というよりもはや期待されていないのでは」「自分の息子や娘を誘うのは難しい」「次の世代が出て来ない」というのは当たり前」「イベントで人を集めても、それは一時的なお客さんであり、あまり意味はない」という厳しい意見が散見された。

まとめでは講師の山名一徳さん(同朋企画専門委員長、伏木組龍善寺住職)より、「残念なことに、寺院と門徒は信仰や信頼関係だけで結びついていただけではありません」「江戸時代になると宗教統制のため、いわゆる『寺檀制度』が設けられ、所属寺の住職が門徒を監視・統制する立場になりました」「お寺にお参りしない者は



邪教徒かもしれないので取り調べよ』『法事をしないものは邪教徒』『お布施をしない者、世話役など寺の仕事を受けない者は邪教徒』という掟まで作られ、嫌でもお参りに行かないといけないうし、法事も勤めなければならぬなど、住職家に逆らうことが許されない上下関係が構築されました」「その寺檀制度は明治になっても基本的な社会構造が大きく変わらなかつたため、近年までゆるやかな形で維持されてきました」「しかし、昨今の社会構造の急激な変化によって、地域内のしがらみや束縛などが機能しなくなると、寺檀関係も一気に崩壊し、今のような状況になりました」と、寺院と門徒の関係は一種の強制力による結びつきであり、内実は空洞化していたことが昨今の状況を招いた、と指摘された。

講義終了後、参加した方からは「話を聞いて、思っていたより遙かに深刻な状況に寺院が置かれていることがわかり、非常にショックだった。一体これからどうすれば…」などの声も聞かれ、衝撃を以って受け止められたようであった。

『第二十二回全国仏教壮年東北大会』団体参拝

去る九月二日(土)、宮城県仙台市のトークネットホール仙台(旧仙台市民会館)において、「第二十二回全国仏教壮年東北大会」が開催され高岡教区からは、専称寺仏壮、光明寺仏壮、妙蓮寺仏壮、金山仏壮、願称寺仏壮、真光寺仏壮、下川崎仏壮から合計十二名が参加した。

本大会は「ともにいのち輝く朋友の笑顔」というテーマでご門主ご臨席のもと、約一三〇〇人規模で東日本大震災の七回忌に当たる年に開催された。記念行事では、桂小枝氏、桂三金氏の落語があり、大いに会場の笑いを誘った。記念講演では、東北教区宮城組専

寺住職、本願寺派布教使足利一之師による「たのむより先に」との講題にて法話があった。

最後に次回の全国仏教壮年大会は備後教区にて平成三十二年度に開催の報告があり、大会は盛況のうちに幕を閉じた。

翌日、当教区一行は、オプショナルツアーに参加し、国宝瑞巖寺を参拝、遊覧船で松島を回り、昼食の後、帰路についた。

☆お知らせ☆

高岡教務所では今年度もカレンダーの注文を受け承ります。

お電話で注文頂ければご寺院宛に配達を致します。

※担当の高島までご連絡ください。

法語カレンダー・・・150円

ほのぼのカレンダー・・・150円

月々のことば・・・700円

心に響くことば・・・120円



◇御同朋の社会をめざす運動のコーナー

結成五周年を迎えた北陸同推

北陸同朋運動推進協議会（以下、「北陸同推」）の結成五周年記念式典、記念公開講演演会が、八月二十九日午後、西本願寺高岡会館で開催されました。

「北陸同推」は、教団の法規、制度が大きく変更される中で、「教団から同朋運動がなくなる」との危機感から二〇一二年四月に、北陸四教区を中心に真宗僧侶・門信徒有志が自主的に結集し結成されました。

教団では「新体制」移行後、「安芸教区過去帳等開示問題」、「第一連区布教使研修会差別発言問題」などが連続して惹起し、二〇一六年一二月施行の「部落差別解消推進法」についての受け止め（教団声明など）も表明されないなど、同朋運動の後退とその影響が顕著にあらわれています。また北陸の行政は、戦後福井県の一部を除き同和对策事業を実施していません。形ばかりの人権啓発活動に終始し、部落差別をはじめとした人権侵害の把握やそれに基づく的確な施策がとられていません。このような中、昨年富山市で、加賀藩における賤称語をもちいた張り紙で隣接する住民へ嫌がらせされる事件が発生するなど、啓発活動の不十分さが部落差別を黙認しています。

部落差別の事実に対応しない行政と教団の姿が問われ、差別のない社会をめざすことを真宗の課題として取り組む同朋運動の、さらなる推進が求められています。

式典では、勤行、代表挨拶に続き、部落解放同盟北陸事務所、近畿同朋運動推進協議会代表からの挨拶、同和教育振興会、同朋運動を続ける会、東日本同朋運動推進協議会代表の方々の出席。中国・四国同朋運動推進協議会、九州・沖縄同朋運動推進協議会、賛助会員でもある福井教区、高岡教区教務所長からのメッセージなどから、同朋運動への期待と連帯の表明が寄せられました。

引き続き行われた記念公開講演会では、落語家の露の新治さんが、「新ちゃんのお笑い人権高座―笑顔でくらす、願いに生きる―」と題し二時間にわたり講演。「差別は不当な分け隔て」、「人生の主役である自分が芯を持てば差別せず生きていける」と強調。加差別者をユーモアを交え批判し笑い、人権・差別を自分の課題と取り組むことの大切さを熱く語ってくださいました。

「北陸同推」では今後も、同朋運動を強力に推進するため、同朋運動推進の関連団体との連帯と、共同事業（現地学習会など）、会員研修会の実施などの事業を予定しています。入会希望者は、高岡教区内北陸同朋運動推進協議会二〇一七年度事務局（担当・岡西）までお問い合わせください。

【北陸同朋運動推進協議会 伯水永雄】

◇これからの日程（9/19～10/14）◇

9月	教区・財団行事	教化団体・組行事
19	ブロック組長会（砺波ロイヤルホテル）～20	
23	僧侶研修会第1回	
25	僧侶研修会第2回	
26	僧侶研修会第3回	高寿会旅行
		関野組仏婦結成30周年記念大会
27		長寿苑ビハーラ コーラス（夜）
28	聖典セミナー	仏婦実践研修会Ⅱ
29		藤の会（富山）
10月		
2	同朋養成研修会	
3		講社役員会
		サンセリテレビハーラ
5		連区総代会連絡協議会（岐阜）
10		コーラス（昼）
14	常例法座	ハンセン病シンポジウム（富山）

☆お知らせ☆

『法輪せんべい』販売について

お茶菓子やご法事・ご法座の折のお扱いにいかがでしょうか。お申し込み先は下記のとおり。

FAX. でのお申し込みも承ります。どうぞご利用下さい。
一袋二枚入りで価格は次の通り

・特大箱（170袋） 8,300円

・1組（10袋） 500円

お申込み先は・・・高岡市東上関446 高岡教務所内
（寺族青年会担当）

Tel. (050) 5587-7708(代表)
メール hourin18@gmail.com

ラジオ放送～西本願寺の時間～

『みほとけとともに』

北日本放送（KNB）・73.8kHz.

◎毎週土曜日（本山制作）午前6:15～6:25
□第2・4日曜日（富山・高岡制作）午前6:00～6:10

◎9/23（土）：朝戸 臣統 氏

（本願寺派布教使・岐阜県神通寺住職）

「語り合い、聞きあい、うなずき合う」

□9/24（日）：未 定

（富山教区）

◎9/30（土）：朝戸 臣統 氏

（本願寺派布教使・岐阜県神通寺住職）

「尊い時間」

◎10/7（土）：朝戸 臣統 氏

（本願寺派布教使・岐阜県神通寺住職）

「未 定」

□10/8（日）：吉井 教潤 氏

（高岡教区新湊組西照寺）

◎10/14（土）：籠 純吾 氏

（島根県順光寺副住職）

「お寺発のまちづくり」

◎10/21（土）：籠 純吾 氏

（島根県順光寺副住職）

「お坊さんカフェ」

～お寺と地域の繋がり～

【西本願寺高岡会館 10月の常例法座】

ご講師： 山名 真由美 氏

（高岡教区）

ご講題：『 未 定 』

午後1時20分頃からビデオ上映、2時からお正信偈六首引のお勤めです。どうぞお誘いあわせてお参りください。